

撃波 (EHL) にて碎石し、全て摘出した。症例 2 は、62 才女性、胆嚢胆管結石症、大腸穿孔の手術後、胆嚢炎を発生した。胆嚢結石は PTCCS にて、18F に拡大後、ESL にて碎石、摘出した。総胆管結石は EST により排出した。非手術的胆道結石摘出術には、1) EST—碎石バスケット法と、2) PTCS—碎石バスケット、レーザー、EHL 法とがある。成功率は、後者がすぐれており、ほとんど全ての結石を除去できる。碎石器具としては、碎石バスケットが手軽であるが、効果は EHL が最もすぐれており、安全である。結石再発、胆嚢癌の発生は、今後の問題として残されている。

7) Intraluminal duodenal diverticulum の 1 例

斎藤	興信	川口	秀輝	
宮崎	裕	八木	一芳	(新潟大学)
柳澤	善計	阿部	朝輝	(第三内科)
成澤林	太郎	上村		
市田	文弘			
宮下	薫			(同 第一外科)

症例は38歳、女性。主訴は上腹部痛・背部痛。昭和62年3月来、胆石発作を反復するため当科に入院。胆石症の診断で加療したが、ERCP 施行時に十二指腸下行脚内側に管腔内に嚢状に突出する憩室を認めた。造影により周囲に薄い透亮像を有する洋梨状のバリウムの貯留が見られ、総胆管結石を伴った Intraluminal duodenal diverticulum と診断した。また腸回転異常も合併していた。当院第1外科にて胆摘術・憩室摘除術と施行。摘出された憩室壁には固有筋層は認めなかった。

本症は胎生期に遺残した不完全十二指腸隔膜の伸展により形成されるものとされ、本例が本邦29例目の報告である。

8) 微小十二指腸癌の 1 例

杉田	健一	渡辺	雅史	
笹川	哲哉	堀	聡彦	(立川総合病院)
小島	豊雄	渡辺	裕	(内科)
大貫	啓三			
君川	正昭	津野	吉裕	(同 外科)
大溪	秀夫			

62歳、男性。不整脈等で当院循環器内科で加療中、健診として1987年11月4日、上部X線検査を行い、十二指腸球部の変形を認め精査のため内視鏡検査を施行した。十二指腸球部の変形に加え、下行脚の乳頭下部に軽度の隆起を有する直径1cm 弱の病変を認め、内視鏡直視下生検にて高分化型腺癌と診断された。生化学的検査及び画像診断を含め、十二指腸第二部の癌と診断し膵頭十二指腸切除術を施行し、Whipple 法にて再建した。切除

標本では大きさは 0.7cm×0.5cm、肉眼的には IIa 型で、病理組織学的には高分化型腺癌、深達度はmでリンパ節転移は認めなかった。

9) 早期十二指腸乳頭部癌の 1 例

池主	雅臣	川村	正	
遠藤	次彦	広瀬	慎一	(長岡赤十字病院)
小池	雅彦			(内科)
和田	寛治	田島	健三	(同 外科)
新田	幸寿	神谷	岳太郎	

症例 59才 男。感冒様症状・心窩部痛・腹部膨満感を主訴として近医を受診し、精査の結果十二指腸乳頭部癌を疑われ、当院に紹介された。黄疸を含めて血液学的に異常所見は認められなかった。低緊張性十二指腸造影・内視鏡・ERCP・CT・エコー・血管撮影の結果、露出腫瘍型の十二指腸乳頭部癌(高分化型乳頭状腺癌)で治癒切除可能と判断して膵頭十二指腸切除術を施行した。組織学的には乳頭部胆管発生が疑われ、進達度は粘膜内までで脈管系へ浸潤・リンパ節転移はなく早期癌と考えられた。十二指腸乳頭部癌はその解剖学的特徴から早期に症状が出現し治癒切除可能な例が多いとされているが、早期癌の中には典型的な症状を欠くものもある。腹痛・発熱が初期症状となるものも多く注意が必要と思われた。

10) 肝転移にて発見され長期生存中の

Nonfunctioning islet cell carcinoma の 1 例

樋口	庄市	太田	宏信	
大野	隆史	成澤林	太郎	(新潟大学)
渡辺	俊明	野本	実	(第三内科)
市田	隆文	上村	朝輝	
市田	文弘			
吉川	明			(厚生連中央総合病院 内科)
二宮	裕			(新潟大学 第二内科)

症例は62才、女性。主訴は心窩部痛である。昭和58年5月、糖尿病のコントロール目的に当院第2内科入院した。入院時 γ -GTP と LAP の軽度上昇を認めた。腹部エコー、腹部 CT、腹部血管造影、ERCP 等より肝転移を伴う膵癌の診断を得た。昭和62年9月、心窩部痛が出現し精査・加療目的にて当科入院となった。当科入院後、腹部 CT 等で肝腫瘍は増大していたが、膵は著変なかった。肝転移巣に対し生検を施行し、グリメリウス染色陽性の分泌顆粒を認めた。血中ホルモンでは有意な上昇を認めたものはなく、以上より nonfunctioning islet cell carcinoma と診断し、膵癌の診断後、4年9ヶ月を経過した現在も経過良好である。